

防災×観光アドベンチャー

あの日

「大船渡からの贈り物」

大船渡でしか体験できないスマホを使用した
災害時の避難体験と日常の備えで自らの命を守り抜く

好奇心を喚起し

「主体的に行動する態度」を育む
今までにない体験プログラムを提供

「あの日」防災学習プログラム
提案書

Ver. 2025.07.11

※プログラム内容につきましては定期的に見直しを図り洗練させてまいります。
お問合せの際はご覧の本資料の「Ver.」名をお伝えいただくとスムーズです。



与えられた話を聞く、ただ現場を見るだけでは
得られないことがある

自らが主人公になってクイズ型ドラマに没入し、 震災の様子を追体験せよ

ここで体験し、気づき、身に付け
自らの命を守り抜いてほしい

そして、参加者ひとりひとりが社会の中心となり、
地域の防災力を高められる大人になることを期待します

プログラム共同開発者：東北大学災害科学国際研究所 准教授 柴山明寛



防災×観光アドベンチャー あの日～大船渡からの贈り物～、「あの日」防災学習プログラムをトータルで共同開発・監修
静岡県出身、2006年工学院大学院建築学専攻博士課程修了。2007年独立行政法人情報通信研究機構、2008年東北大学災害制御研究センター助教を経て、2012年から東北大学災害科学
国際研究所災害アーカイブ研究分野准教授。地震災害を地震工学、地域防災、情報通信などの様々な視点から防災・減災方法を研究。東日本大震災以降、震災アーカイブプロジェ
クト「みちのく震録伝」に従事し、震災の復旧復興支援、南海トラフの防災対策、災害記録・記憶の伝承、防災観光に繋げる研究を行っている。
受賞等：IBM Faculty Award 2013、科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞（振興部門）（2015年）を受賞

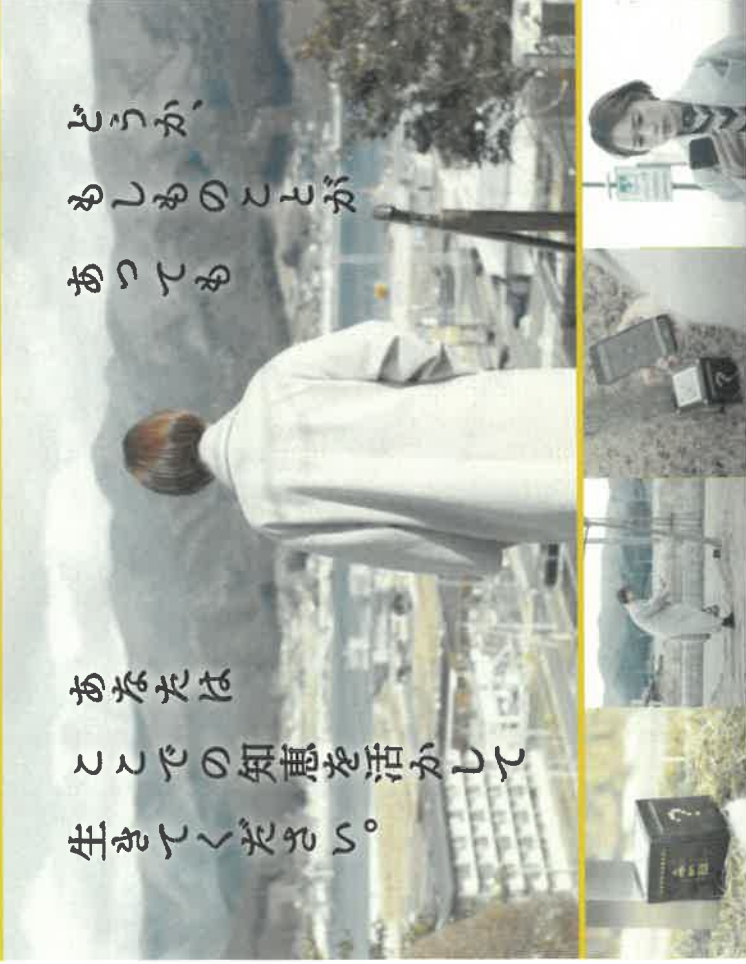
2022年7月17日 待望のリリース！
震災から11年、今だから語れる。
大船渡からあなたへの贈り物

スマートフォンを片手に、復興したまちなかを
歩き、津波体験を疑似体験できるゲーム

現地では体験できません。
ぜひ、いらして下さい！

あなたは
ここでの知恵を活かして
生きてください。

あつても
もしものことが
どうか、



震災を経験した人が伝える「いきる知恵」がQRコードボックスとなり、街の
あらゆる場所に設置されます。このボックスを探し集めることにより、震災
の様子を追体験し、本物の「いきる知恵」を学べます。

防災×観光アドベンチャー
～大船渡からの贈り物～

あの日



PRmovie

監修：東北大学災害科学国際研究所 柴山明憲／制作：バスケュール サルボ／音楽：プロモーション・盛岡ClubChange
／開発：内丸座／開発主体：キャッツエンタテインメント／楽曲提供：FUNNY THINK／協力：大船渡市 東海新報社 村田プリント
サービス みちのく観光最低 マイヤ さいとう製菓 大船渡フラサホテル 津田水産 おおふなと夢商店 街

自らの、体を動かし、考えて、判断する
もしもの時の「決断力」を養うことが重要



【経験「生きる知恵」に学ぶ】
震災を体験した人たちが伝える「いきる知恵」を獲得できる

大船渡地域の17名がスマートフォン上に声と画像で登場。東日本大震災発生当時に体験したこと
を伝えます。それぞれの経験そのものが教訓であり、有事の際に生きるために活かすべき「生きる
知恵」として獲得することができます。

震災を生き抜いた体験をその方々が本人の話し言葉で語りかけます。



【事例「わかれ道」に学ぶ】
避難するときの葛藤やジレンマを感じることができる

QRコードを読み込み獲得できるのは「いきる知恵」だけではなくありません。時どき「わかれ道」が出現さ
れます。これが出たら、東日本大震災被災地でのヒアリング調査をもとにした、**災害時に実際に目
の前で起こる可能性のある出来事をクイズ形式にした「わかれ道」に回答しなければなりません。**
早く避難をした方が良いはず、でもクイズに答えなくてはならない。(なかには答えづらい設問も)
平時では味わうことのできない葛藤やジレンマを、安全に感じていただけます。



【実際に体験することで学ぶ】
自分の足で、自分のペースで実際の避難経路を体験できる

このゲームではガイドによる先導はありません。全て参加者自らのペースで行ないます。

ゴール地点はこの地域の指定緊急避難場所です。

はじめて訪れた場所で大きな地震に遭遇したが、指定緊急避難場所がわからなかった。全てはそこから
はじまります。そして自分で判断しなければなりません。

実際に「あの日」が来たとしたら、そこにガイドはいないのでから。

自分の意思で動き、自らの操作でゲームを進める
自分ごととして劇的な深度で学びが加速します

POINT  あなたは死んではならない
→ 率先避難者の育成

POINT 津波からの避難時間はあまりに短い
→迅速な行動の必要性

POINT 〆

避難の道中に予期せぬ出来事に直面するが
正解・不正解という簡単なものではない
→災害現場の葛藤を疑似体験

多様な気づきを獲得する
充実の120分
 (プレイ時間60分+準備・振り返り60分)

☒ こんなときどうするか、どうすればいいか、想定を平時からしていることが大切

エンディングメッセージ



「あの日」ゲームは、すでにたくさんの方々が体験。教育旅行、団体旅行、視察のお手伝いをしています。

教育旅行関連

- ・静岡県の中学校【106名】
- ・岩手県沿岸部の中学校【23名（2022年）・58名（2023年）】
- ・神奈川県の高校【73名（2022年）・66名（2023年）】
- ・東京都の中学校【24名（2022年）・38名（2023年）】
- ・岩手県内陸部の高校【40名（2022年）・41名（2023年）】
- ・岩手県内陸部の高校【77名】

大学関係

- ・東京都立大学 学生団体【東京都／13名】
- ・立命館大学 学生団体【京都府／19名】
- ・明治大学 学生団体【東京都／13名】
- ・中京大学 学生団体【愛知県／6名】

団体視察、旅行関連

- ・岩手県内震災伝承者【岩手県／15名】
- ・みちのく復興デザインセンター【岩手県／5名】
- ・内閣府関連モニターツアー【20名】
- ・あの日体験会【20名（2022年）・66名（2023年）】
- ・岩手県男女共同参画センター体験講座【岩手県／24名】
- ・岩手大学都市・地域デザイン研究室視察【岩手県／5名】
- ・大船渡市応援職員復興報告会【岩手県／40名】
- ・大船渡市・住田町連携インバウンド体制整備事業【岩手県／11名】
- ・三陸DMO教育旅行招へい事業【6名】
- ・岩手県議会東日本大震災津波復興特別委員会視察【岩手県／10名】
- ・あの日モニターツアー【総計70名（2回）】
- ・旅行企画「恋する大船渡」【総計96名（複数回）】

体験者の声

参加者へのアンケートより

ニュース等で話は何度も聞きましたが、実際の被災地で自分とそこの地を見ながら、経験された方々の話を直接聞く事ができて、重みが伝わり、新たな気づきとなりました。

災害教育においては「まじめな内容であるからまじめに学ばなくてはならない」というような固定観念が強いと思うのですが、「この経験と教訓を本来に次の世代に伝えなければいけない」と考えたからこそ外面にとらわれない「あそび」という面から企画を構成されたという点で、被災された方、企画に関わられた方の真実さ、熱意が伝わってきました。

実際に震災が起こった時は、パニックに陥り、ゲームの中で選んだ選択とは違う選択をして、逃げ遅れてしまおうかもしないと思います。そうならないために、いきる知恵を時々見返して、心に留めておきたいと思います。

外出先での避難というところは想像したことがなく、実際の34分と避難の難しさがわかりました。防災という点では、時間内に「いきる知恵」を探し、教々の「わかれ道」で悩むこともありながら、実際に避難場所まで逃げなければならぬという点で、ただ地図を眺めたり、お話を聞いたばかりだけでは想像できない部分まで考える事ができ、より実践的に防災意識を見直すきっかけになりました。

実際に東日本大震災を経験された方による「教え」には重みがあり、震災の教訓を未来の災害に生かしてほしいという熱い想いを感じました。クイズ形式の部分では、災害時に起こりうる設定がリアルであつたため、自分だったらどうするかを考え、具体的な状況をイメージしながら参加することができました。

震災による地震は実際に経験しましたが、津波となるとやはりどこか遠くのこのように感じていたもので、限られた時間の中で避難することを体験することで、津波を身近に感じることができました。実際に津波を経験した方々の言葉を聞き、当時そこで生活されていた方々が突如津波に襲われる恐怖を改めて実感しました。

アドベンチャーのなかで、「いきる知恵」として震災を経験した方の声を聞く事ができるのは貴重な機会になると感じました。少し訛っていたところもありましたが聞き取るのが難しいというほどではなく、その具体的な内容や素朴な語り口からは、真に迫ったリアルさを感じとても印象に残りました。

アドベンチャーゲーム形式で津波からの避難を体験できるというのは、非常に面白かったです。実際に東日本大震災を経験していない世代でも比較的容易に体験ができるのも良い点だと感じました。後世に津波被害と避難を伝えていくために、この体験型のアドベンチャーゲームはとても良い手法だと思いました。

2022年～2025年11月現在 受け入れ団体のうち、学校関係の内訳

2022年

静岡大学教育学部付属島田中学校
釜石市立釜石中学校
東京・桐朋中学校
神奈川県立神奈川総合高校
岩手県立盛岡第三高校
東京都立大学
岩手大学

2023年

立命館大学
岩手県立盛岡第三高校
岩手県立盛岡南高校
釜石市立釜石中学校
明治大学
中京大学
神奈川県立神奈川総合高校

2024年※5月よりプログラムブラッシュアップ料金体系化

札幌市立八軒東中学校
大船渡高校定時制
岩手県立盛岡三高
岩手県立盛岡南高校
花巻市立南城中学校
大阪の中学生(代表生徒10名)
釜石市立釜石中学校
中京大学
岩手県立大船渡高校

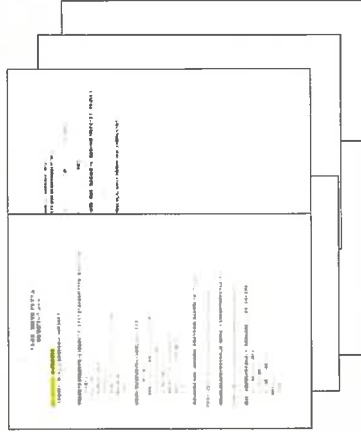
2025年

釜石市立釜石中学校
宮古市立宮古西中学校
相模原市立緑が丘中学校
盛岡市立北松園中学校
東京・桐朋女子中学校
岩手県立大学
中京大学
大船渡市立大船渡中学校

これまで提供していた「あの日」体験学習に事前・事後学習を追加しアップグレード
事前学習で歴史を、ゲームで震災を追体験、事後学習で「備え」を学ぶ体系的学習プログラム

事前学習
【学校】

- ポイント
過去に学ぶ
- ・日本の地震のこれまでと、これから
 - ・大地震の被害を調べよう
 - ・大船渡市の東日本大震災の被害を調べよう
 - ・防災知識の確認



事前学習ワークシートを提供

全て行っていたく、一部を選択的に行っていただくなど、カリキュラムの時間に合わせてご利用ください。

「あの日」体験学習
【キャッセン大船渡】

- ポイント
好奇心を喚起し、「主体的に行動する態度」を育む
- 震災を追体験
- ・経験「いきる知恵」に学ぶ
 - ・事例「わかれ道」に学ぶ
 - ・実際に体験すること学ぶ

項目	時間	内容	場所
集合 イントロダクション プレイ方法説明	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・キャッセンエリアについて ・プレイ方法説明 ・スマホ操作の説明 ・注意事項 	指定集合場所
あの日 プレイ	60分	<ul style="list-style-type: none"> ・QRボックスを探す ・「いきる知恵」を集める ・ゴールへ向かう ・集合場所に帰ってくる ※プレイ時間40分～60分 	キャッセンエリア → 加茂神社 → 指定集合場所
振り返り	30分	<ul style="list-style-type: none"> ・リザルト画面説明 ・あの日振り返り ・要点整理 	〃
「あの日」防災学習プログラムは120分で終了			

事後学習ワークシートを提供



防災×観光アドベンチャー「あの日」ゲームをプレイしたからこそ、体験・体感できた「気づき」を定着させる自己探究のヒントとなる設問を提供します。自分で言葉にする、それをみんなで共有し、他者の意見を聞くことで、日頃の「備え」について考えます。

「あの日」防災学習プログラムを補完し、大船渡での学びを深める様々なバリエーションのオプションプログラムがあります。ご要望、お時間に合わせてご提案いたします。

オリエンテーション時に配布

「何をすれば良いんだっけ？」そんな疑問からの没入離脱を防止するため、テキストベースの説明書を準備しています。



「あの日」プレイ終了後に配布

学びを大船渡だけで終わらせない、手元に残りいつでも防災意識を高める解説書を配布。



スクール形式
10～60人
(一回転収容人数)

キャッセン大船渡「あの日」特設会場
会場追加料金 0円

スクール形式60人までを収容可能な、キャッセン大船渡のコミュニティスペース会場。目の前には第27回緑の環境プラン大賞「第27回国土交通大臣賞」を受賞した、大船渡市の街の真ん中に四季の移ろい、草花の匂い、緑のやさしさ等、自然のやさしい側面を感じさせる千年広場がある。



10～40人
(一回転収容人数)
レイアウト



41～60人
(一回転収容人数)
レイアウト



スクール形式
10～78人
(一回転収容人数)

椅子のみ
10～90人
(一回転収容人数)

おおふなばーと 多目的室(大船渡市防災観光交流センター)
会場追加料金 0円

※大船渡市防災観光交流センター利用規約「13 利用料金の減免について」の(1)全額免除 ①防災(津波伝承)に関する事業にあたるため利用料金は全額免除となります。



スクール形式78人、椅子のみ90人まで収容可能。
平成30年にオープンし、東日本大震災からの復興の象徴として建てられた施設。平常時は、観光情報の発信と、市民や市内外から来訪される方々との交流の場を提供するほか、津波発生時には一時的な緊急避難場所的機能を有する施設です。

スクール形式
79～200人
(一回転収容人数)

椅子のみ
91～300人
(一回転収容人数)

大船渡プラザホテル プラザホール
会場追加料金 44,000円または88,000円～
(昼食付き割引あり)



スクール形式200人、椅子のみ300人まで収容可能。
昭和58年に創業し、震災で一時休館となったが、補修後同年12月には営業を再開。2016年3月現在の場所に移転新築され、宿泊、宴会、レストラン、結婚式場などがそろった複合ホテルとして再オープン。「心のふれあいを大切に」をモットーに地元で長年愛されているホテルです。

※一回転の会場使用人数となります。人数やオプションプログラムの追加によっては二回転により多くの参加者対応が可能な場合があります。
検討される最大参加人数にてお問い合わせください。

※施設の空き状況によってはご希望の会場をご用意することができませんので、希望する日程がありましたらお早めにお問い合わせをお願いいたします。

キャッセン大船渡店舗店主、語り部ガイド等、あの日ゲームの「いきる知恵」の出演者が登壇し、直接語りかけます。

震災語り部

震災語り部、もちろん手配できます。
テナントの多くは震災前から地元大船渡で営業していた店舗。
店主たちのほとんどは、震災を乗り越えた方々です。
復興にどう向き合ってきたかをお話しいたします。
命の大切さや、助け合いのすばしさなどの話も。

料金：語り部1人手配5,500円（税込）＋参加者1人につき200円（税込）
（参加者全員に簡単なお土産付き）
時間：50分



大船渡市内をはじめ他地域施設とのコーディネートもおまかせください！

パートナーシップ関係にある「大船渡市観光物産協会」に
お客様の要望を速やかに共有

ワンストップ窓口（担当者）を設定し、
プランニングのお手伝いをいたします！

出典：「教育旅行誘致用資料」P.2、一般社団法人大船渡市観光物産協会

大船渡市で学ぶ教育旅行

本市は、岩手県の沿岸南部に位置し、陸中海岸国立公園の代表的な景勝地として知られる
磐石海岸（現任、復興国立公園）や三陸沿岸の最高峰五稜山国立自然公園など、自然豊かで
風光明媚な人口3万4千人のまちです。
夏は涼しく、また、冬にはほとんど積雪が降り、比較的温暖な心地の良いまちです。
明治29年明治三陸地震、昭和8年昭和三陸沖地震、昭和35年-チリ地震、平成23年
-東日本大震災、幾度も地震、津波により甚大な被害に遭いましたが、災害を乗り越え、市民
一人ひとりが幸せを感じ、誇りを持てるまちとして再生するため、復興に向けて取り組んで
いるまちです。教育旅行素材のひとつとして、海をテーマに多方面からアプローチする内容を
ご提案いたします。



次ページ
地域内コンテンツを紹介

団体旅行受入可能な食事施設

ラウンジサカサカス（大船渡プラザホテル）：キャッセンエリア 大船渡市大船渡町字茶屋前7-8	
	
昭和58年に創業し、震災で一時休館となったが、補修後同年12月には営業を再開。2016年3月現在の場所に移転新築され、宿泊、宴会、レストラン、結婚式場などがそろった複合ホテルとして再オープン。「心のふれあいを大切に」をモットーに地元で長年愛されているホテルです。	
海の幸ふるまいセンター：キャッセンエリア 大船渡市大船渡町字荻崎3-6	
	
鎌田水産株式会社新工場近くに新たにオープン。その場で選んだお魚をお刺身としてお召し上がりいただけます。店内にて新鮮な三陸の海産物を購入することもできます。令和2年4月にリニューアルオープンしました。	
牡蠣とワインのある店 海岸食堂：キャッセンモール&パティオ 大船渡市大船渡町字野々田10-3	
	
大船渡産の牡蠣を様々なメニューで堪能できるオイスターバー。一番人気は蒸し牡蠣！フリフリに蒸しあがった牡蠣がたまらない！お料理に合うワインも各種ご用意。日々、牡蠣の美味しさを追求し、通年提供できるように工夫している。	
市場ごはん 大船渡食堂（大船渡魚市場） 大船渡市大船渡町字長沢209 大船渡魚市場3階	
	
海鮮バーベキューは、大船渡湾を一望できるテラスでオーナー自ら料理を提供いたします。（可能人数10～15人）メニューは、ホタテ・牡蠣・イカ・大船渡産ボーク・秋刀魚など。各種料理に合う、各種日本酒・ワインも別途ご用意しております。	
暮石海岸レストハウス 大船渡市末崎町字大浜221-68	
	
三陸復興国立公園暮石海岸内の施設です。1階がお土産店、2階が200人収容の食堂です。座席割等については事前にご相談ください。また、生ものや食物アレルギーに対し別メニューにて対応可能ですのでお問い合わせください。	
暮石給食【弁当対応のみ】	
	
三陸の食材をふんだんに活かしたお弁当を提供します。その他、おにぎり弁当や幕の内弁当・にぎり寿司弁当もご相談に応じてお作りします。	

団体旅行受入可能な宿泊施設

大船渡プラザホテル：キャッセンエリア 大船渡市大船渡町字茶屋前7-8	
	
■加温空気清浄機 独立空調 Wi-Fiを完備。シモンズ製130cmのベッドでおくろぎいただけます。■カードキーによるエレーターロックで、安心してお過ごしいただけます。■三陸海岸の魚介を使用したお料理を提供。和会席とイタリアンコースからお選びいただけます。	
大船渡温泉 大船渡市大船渡町字丸森29-1	
	
■2021～2023温泉宿・ホテル総選挙「絶景部門」連続第1位受賞の三陸・大船渡湾と太平洋を望む眺望。■2022、2023温泉宿・ホテル総選挙「海の幸部門」連続第1位を受賞した漁師の社長自慢の漁師めし。■三陸では数少ない天然温泉。大浴場から自慢の眺望が堪能できる。特に日の出は絶景。	
やすらぎの宿 廣洋館 大船渡市三陸町線里字白浜95	
	
■太平洋を一望できるプライビートビーチのように静かな白砂海岸の高台に立つ、やすらぎの宿。■三陸の美味しいお魚がメニューのお食事、小さい宿だから出来る心のこもった料理を提供しております。■心地良い音楽が流れているロビーでは、海を眺めながらゆったりとした時間を過ごせます。	
大船渡土産物施設	
かもめテラス：キャッセンエリア 大船渡市大船渡町字茶屋前38-1	
	
かもめテラスは「三陸産匠さといとう」の新たな「総本店」として2017年にオープンしました。お馴染みの「かもめの玉子」のほか、和・洋菓子、焼き立てパン工房、さいとう製菓のルーツである「斎藤餅屋コーナー」など、さまざまな商品がラインナップ。	
道の駅さんりく三陸ふるさと物産センター 大船渡市三陸町町越喜来字井戸洞95-27	
	
世界的ブランドの三陸産アワビや、特産品であるホタテ、生産量日本一のワカメや、三陸産のウニやホヤやイクラの他、市内で漁獲された四垂折々旬の魚介類を豊富に販売。海産加工品や農産加工品、三陸周辺の銘菓など旅の思い出に最適な土産も。	
暮石海岸レストハウス 大船渡市末崎町字大浜221-68	
	
三陸の磯の香りがたつぷりの海産物や水産加工品をはじめ、大船渡市内の銘菓や工芸品を数多く取り揃えています。人気のいかせべいは暮石海岸レストハウスオリジナル商品。製造過程を見ることができ、焼き立ての試食も可能。3種類の食べ比べがおすすめです。	

大船渡地域内コンテンツの詳細は「大船渡市観光物産協会」よりご説明いたします

団体旅行受入可能な多彩なコンテンツ

<p>大船渡銘菓「かもめの玉子」工場見学</p>  <p>映像による会社概要説明後、社員が作業現場を案内・説明し、製造ラインの見学を行います。見学者には、特別にここできか食べられないホワイトチョコレートココロティング前のかもめの玉子ミニ（通称：焼き玉子）1個とオリジナルクリアファイルをプレゼント。</p>	<p>大船渡魚市場見学</p>  <p>「水産のまち大船渡」の中核施設として平成26年4月に完成した高度衛生管理・鮮度管理に対応した魚市場。漁業・水産に関する展示施設や展望デッキなど観光拠点機能も備えています。施設見学のほかに、魚市場職員が震災時どのような対応を取ったのかなど講話の対応も可能です。</p>	<p>三陸あわびの養殖場見学</p>  <p>「美味しいワカメがあるところに、美味しいあわびがあり」と言われており、上質の朝美あわびが育つ環境があります。この環境下で、特別な生産技術を持つ元正津北日本水産で育ったあわびを「見て・作って・食べて」を体験することができま</p>	<p>水産加工工場見学（阿部長商店大船渡食品）</p>  <p>東日本大震災により、新工場が大きな被害を受けました。その当時の様子や復興状況、職員の平均年齢が若い大船渡工場の活力、美味しい商品ができるまでなどお話を聞きながらの工場見学ができます。</p>	<p>漁港隣接産直施設【産直グループ】地域産品作業体験</p>  <p>大船渡市赤崎町合足漁港にある産直施設では、ワカメの芯抜きやホタテ剥きができるほか、地域産品のみを使用したピザづくりなどが体験できます。施設内にある生簀の見学や、海・山・里を活用した磯遊びや畑作業など、色々な体験が可能です。</p>	<p>とれたて魚捌き体験</p>  <p>近年「魚離れ」と言われている子ども達を救おう！と地元お魚屋「シタガ商店」が、朝市場で水揚げされた新鮮な魚介類を自分たちで捌き食す体験を行います。お客様の年齢に合わせ、旬な食材を基に食育に迫ります。東日本大震災の機子や避難生活などの体験談を交えて食の大切さを伝えます。</p>
---	---	---	---	---	--

<p>農業体験＆薪と御釜で炊くお米屋敷</p>  <p>大船渡市日頃市町は、花の百名山である「五葉山」のふもとに広がる中山間地域です。自然豊かなこの地では、ホシノコウジカやカミシカやサルと出会うこともあります。森林なあたかさをを感じる地元農家さんと農作業を体験し、薪と御釜でご飯を炊き、お米の美味しさを味わう体験です。</p>	<p>磐石海岸穴通船遊覧</p>  <p>味のある漁師の船頭が運転する小型船に乗り、磐石海岸の名所「乱鳴谷」、雷のような海鳴りのする「雷岩」など変化に富んだ素晴らしい景観を海上から間近に見ることが出来ます。大船渡市のシンボル「穴通橋」は巨岩、条件が揃えば通れる洞穴くぐりはスリル満点、一度体験したらやみつきに。</p>	<p>「震災学習列車」三陸鉄道リアス線</p>  <p>三陸鉄道で移動しながら震災・防災について学ぶことができます。「震災学習列車」を運行しています。東日本大震災を経験した社員や地域住民の方がガイドとなり、自然の猛威、命の大切さ、人と人との繋がりを伝えます。</p>	<p>大船渡市内視察</p>  <p>東日本大震災の爪跡と復興工事が進む市内において、写真等を活用して震災学習を行います。風化させたくない津波体験談や防災・減災への意識の持ち方など、被災地だからこそ感じ取ることができる体験です。</p>	<p>津波伝承語り部</p>  <p>未来に伝える続けるのは、あなたに助かってほしいから。様々な資料と語り部による被災、避難体験談など貴重なプログラムでお伝えします。皆様、今後の備えについて一緒に考えていただきたいと思います。</p>	<p>大船渡津波学習ウォークガイド</p>  <p>「津波学習マップ」を用いて、防災・津波学習まち歩きを行います。学校の方針などによる、プログラムに対するご要望などございましたら、お気軽にご相談ください。</p>
---	---	---	--	---	--

大船渡地域内コンテンツの詳細は「大船渡市観光物産協会」よりご説明いたします

「あの日」の日-防災学習プログラム無料提供デーのお知らせ

防災の日、津波防災の日・世界津波の日および過去に津波の発生した地震の日は、「あの日」防災学習プログラムを無料にて提供いたします。一般の方、団体の方も含め広く体験していただくため、全員参加型のプログラムにて運用します。したがって団体の貸切予約はお受けすることができません。団体貸切を希望される場合は別日にて調整をお願いいたします。詳細は「あの日」防災学習プログラム事務局にお問い合わせください。

2024年

「あの日」の日-防災学習プログラム無料提供デー

※各部定員60名

• 6月15日（土） 午後の部14:00-16:00
明治三陸地震津波の日

• 9月1日（日） 午後の部14:00-16:00
防災の日

• 9月6日（金） 午後の部14:00-16:00
平成30年北海道胆振東部地震の日

• 11月5日（火） 午後の部14:00-16:00
津波防災の日・世界津波の日

防災学習プログラム無料提供デー 予定日一覧

※実施については各年の施設受け入れ可能日を勘案しあらかじめ公表するものとします。

日 に ち (発生時間)		震度
1月1日 (16時10分頃)	令和6年能登半島地震の日	7
3月3日 (2時30分頃)	昭和三陸地震の日	5
3月11日 (14時46分頃)	平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震の日 【東日本大震災】	7
5月24日 地震発生現地時間 (5月22日15時11分)	1960 チリ地震津波の日	日本の体感震度 0
6月15日 (19時32分)	明治三陸地震津波の日	強 ※当時の震度階級 現在だと4強
9月1日	防災の日 関東地震【関東大震災】	6 ※当時の最大震度
9月6日 (3時7分頃)	平成30年北海道胆振東部地震の日	7
11月5日	津波防災の日・世界津波の日	

「あの日」 防災学習プログラムをご検討の旅行主催者様、旅行者様におかれましては、プログラム視察としてもぜひご利用ください。

「あの日」の日-防災学習プログラム無料提供デー
問い合わせフォーム

<https://forms.gle/DpiQr48vs46o2D1D8>

【ご提案】防災学習効果を高めるコンテンツ連携について

私たちが提供する「あの日」防災学習プログラムは、大船渡での東日本大震災の経験を基に、ことさら避難行動にフォーカスしたプログラムです。

東日本大震災での犠牲者の死因の90%以上は津波に巻き込まれた溺死であり、このことは地震発生から津波来襲の短時間すなわち避難行動時に集中していると考えられます。

つまり、「あの日」防災学習プログラムで可視化される避難行動の成否が「命を守ること」に直結すると言っても過言ではありません。

しかし、東日本大震災では避難をした後も命を脅かすような様々な困難がたくさんありました。長きにわたる復興過程において、どのようなことがあったのか、災害史に学ぶことも非常に重要だと考えます。それはまさに、あなたが災害に直面したとき、自分の身に何が起るのかを学ぶことになるからです。

私たちがお伝えできない多くの情報を発信する施設として、陸前高田市に「東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル」があります。

整理された情報による学びと、疑似体験による学びが相互補完することで、防災学習を効率よく深められることから、東日本大震災津波伝承館に立ち寄りいただく旅行行程を実施される団体においては、私たちの提供する「あの日」防災学習プログラムの料金を割引いたします。

ぜひ、ご検討のほどよろしくお願い申し上げます。

「東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル」（陸前高田市）連携割引			
カテゴリ	対象	割引対象	1人あたり割引料金
一般団体 防災教育 旅行	団体 全員	「あの日」防災学習プログラムを含む同一旅行行程で、東日本大震災津波伝承館に入館する場合、上記の料金から200円（税抜）割引をいたします。 ※推奨は「あの日」防災学習プログラム前入館ですが、立ち寄り順は問いません。	220円 (税抜 200円)

「あの日」防災学習プログラムと東日本大震災津波伝承館の各コンテンツの守備範囲（イメージ）



東日本大震災津波伝承館（いわてTSUNAMIメモリアル）とも至近距離です



国土地理院ウェブサイト「地理院地図Vector」 (<https://maps.gsi.go.jp/vector/#13/39.013815/141.63969/&ls=vstd&disp=1&d=1>) を加工して作成



防災学習プログラム料金 ※最小催行人数は10人です

一般団体価格

カテゴリ	対象	料金種別	1人あたり料金	備考
一般団体	一般 大学生	通常料金	1,650円 (税抜 1,500円)	
		キャッセン大船渡 シヨップチケット付 特別料金	1,650円 (税抜 1,500円)	実質650円(税込)で学べます! キャッセン大船渡指定店舗で利用 できる1,000円(税込)チケット付き

キャッセン大船渡エリアシヨップチケットについて

シヨップチケットは、キャッセン大船渡対象店舗にて表記する額面金券(500円(税込)チケット×2枚=1,000円分)として利用
することが出来ます。額面金額未満のお会計の際にお釣りはできません。
※お土産チケットの有効期限は、「あの日」防災学習プログラムの参加日翌日までです。お土産チケットを「あの日」防災学習プログラ
ム料金に充当することはできません。お土産チケットは会場追加料金に充当いただけません。しかし、その際は差額分(発行予定の
お土産チケットの総額-会場追加料金=差額分)をお土産チケットとして発行することはできません。

防災教育旅行価格 ※学校単位でお申し込みいただいた際に適用いたします。

カテゴリ	対象	料金種別	1人あたり料金	備考
防災教育 旅行	小学生 中学生 高校生	防災教育旅行	1,320円 (税抜 1,200円)	
		北海道・東北6県学校対象 地元防防災教育旅行	1,210円 (税抜 1,100円)	
		大船渡市内設置学校対象 大船渡未来づくり 防災教育旅行	0円	「大船渡未来づくり割引」適用後価格 ※詳細はキャッセン大船渡まで

小学生の参加について

小学生低学年以下の児童でも参加することは可能です。しかしながら、「あの日」スマホゲーム内で使用している文書が内容的に難し
い可能性があります。キャッセン大船渡ホームページの「防災×観光アドベンチャー あの日」パンナーをクリックすると【お試し版】
ゲームを利用することができますので内容をあらかじめ確認いただきご確認ください。

※小中高生年のプログラムの参加においては、**プレイ中の安全確保係員配置が必要**になります。具体的には、「あの日」スマホゲーム内
で避難行動をする際に**幹線道路を横断する3箇所(会場によっては4箇所)への安全確保係員配置**を強く推奨いたします。

※プログラム参加者が、「あの日」スマホゲームを利用している場合でも、街の住民、幹線道路利用者等は平時の生活をしているため、
交通ルールを遵守する必要があります。なお、お事柄では、本プログラムの催行においては、プレイ場所・幹線道路
をプログラム参加者が独断的に使用するための規制いわゆる「道路占用許可」「道路使用許可」等の許可申請対象行為とならないと
考えます。旅行引継者や教員等による人員配置の協力をお願いいたします。事務局にて安全確保係員の手配を希望される場合は退
加料金が発生いたします。詳細はお問い合わせください。

「東日本大震災津波伝承館 いわてTSUNAMIメモリアル」(陸前高田市) 連携割引

カテゴリ	対象	割引対象	1人あたり 割引料金
一般団体 防災教育 旅行	団体 全員	「あの日」 防災学習プログラムを含む同一旅行行程で、 東日本大震災津波伝承館に入館する場合、 上記の料金から200円(税抜)割引をいたします。 ※推奨は「あの日」 防災学習プログラムの入館ですが、 立ち寄り順書は問いません。	220円 (税抜 200円)

防災学習プログラムは120分です。

※120分より短縮で行うことは可能ですが振り返り等の説明が不足となることがあります。また、事前・事
後学習を行わない場合はあらかじめご連絡をお願いいたします。なお、事前・事後学習のテキストが不
要の場合においても、防災学習プログラムの料金割引はありませんのであらかじめご了承ください。

スマートフォン準備および推奨環境

防災学習プログラムは、スマートフォンゲーム「防災×観光アドベンチャー あの日」を使用いたします。参加者
ご自身で以下の推奨環境のスマートフォンもしくはタブレットをご準備ください。なお、プレイ中は通信回線
を使用します。屋外のプレイエリアはWi-Fi環境がありませんので、通信可能なスマートフォンもしくはタブレット
をご用意ください。

スマートフォンもしくはタブレットは必ずしも1人1台必要ではありません。各班1台ずつで催行することも可能で
す。班構成の人数目安は、スマートフォンもしくはタブレットから流れる音声が聞こえる範囲での人数を推奨い
たします。

スマートフォン、タブレットの推奨環境は以下の通りです。

ios: ios13以上/推奨ブラウザ: Safari

Android OS: Android9以上/推奨ブラウザ: Google Chrome

※推奨環境以外でのご利用や、推奨環境下でもお客様の設定によっては、ご利用できない、もしくは正し
く表示されない場合があります。その場合はサポート対象外となりますので、同行者と一緒にプレイし
ていただくなどの措置をお願いする場合があります。

※スマートフォンもしくはタブレットの不具合による「あの日」スマホゲームがご利用できない、正しく
表示されない、中断、不成立等の発生につきましては、下記の「防災学習プログラムの中止、中断
について」の中止、中断による返金要件にはあたりませんのであらかじめご了承ください。

キャンセルポリシー

予約確認書を送付後、お客様の都合でキャンセルされる場合は次の金額を申し受けます。

防災学習プログラム催行日の前日から起算してさかのぼって、

- 11日目にあたる日以降のキャンセル 無料
- 10日目にあたる日以降のキャンセル 防災学習プログラム全体金額の20%
- 7日目にあたる日以降のキャンセル 防災学習プログラム全体金額の40%

防災学習プログラム催行日の前日、当日、

4) 前日、当日のキャンセル 防災学習プログラム全体金額の100%

※事前納付されていない場合は、キャンセル料としてご請求いたします。事前納付の場合は、上記金額を
差し引いて返金いたします。

※上記キャンセルポリシーは、「あの日」防災学習プログラムに対してのものです。会場追加料金、屋食手配、語
り部手配等のオプション利用については手配先のキャンセルポリシーが適用となりますのであらかじめご了承
ください。

防災学習プログラムの中止、中断について

以下の場合により事務局は、防災学習プログラムの催行が不可能もしくは困難であると判断した場合、防災学習
プログラムの中止、中断をすることがあります。

- 1) 防災学習プログラムを催行する施設が利用できなくなった場合および催行に不適切と事務局が判断した場合
合。 2) 政府、行政、および公的機関による防災学習プログラムを催行する施設利用の自粛要請、自粛検
査、中止要請、中止検討、中止命令などにより事務局が適切ではないと判断した場合。 3) 不
可抗力の事由により催行ができなくなると判断した場合、事務局が適切ではないと判断した場合。不可抗力の事由と
は、台風、豪雨、暴風、水害、地震などを含む天災地災、疫病、公衆衛生リスク、交通機関の遅延・運休、戦
争、内乱、テロ、ストライキその他、事務局の責めにやらない事由を指します。

この場合は防災学習プログラム料金を請求いたしません。事前納付の場合は金額を返金いたします。また、中止
中断に関連して防災学習プログラム以外に発生する費用に関して事務局は一切の責任を負わないものとします。

免責事項・保険について

防災学習プログラムでは「あの日」スマホゲームにおいて、一般市民の生活区域いわゆる生活圏にて、QRポッ
クスの探索、疑似避難体験等の野外活動を行いますので、怪我や危険発生の可能性がります。その発生する可
能性は完全に排除できるものではないこと、それらが最小限になるように守るべき諸事項・指示等の説明
を行います。それに従わないことにより、また参加者自らの健康状態もしくは過失・事故により何らかの被害
害・怪我を被ったとしても、事務局・関係者・キャッセン大船渡は一切の責任を負い兼ねます。万が一の場合、
必要に応じた医療・行政機関への連絡、可能な限りにおいて輸送を行います。事務局・関係者・関係者は負いかね
ます。参加者において国内旅行保険等へ加入をお願いいたします。

Q. 「あの日」スマホゲームとあるが、タブレットは対応していますか？

A. 推奨環境を満たせばタブレットでのプレイも可能です。なお、プレイ中は通信回線を使用します。屋外のプレイエリアはWi-Fi環境がありませんので、通信可能なスマートフォンもしくはタブレットをご用意ください。

Q. 「あの日」防災学習プログラムに参加する生徒（児童）は1人1台スマートフォンを持つ必要がありますか？

A. スマートフォンもしくはタブレットは必ずしも1人1台必要ではありません。各班1台ずつで進行することも可能です。班編成の人数目安は、スマートフォンもしくはタブレットから流れる音声が届く範囲での人数を推奨いたします。

Q. スマートフォンもしくはタブレットを事務局からレンタルできますか？

A. 事務局でレンタルは行っておりません。キャッセン大船渡内の携帯電話ショップをご紹介しますが、金額、レンタル条件等は直接ショップとお話してください。もちろんお客様のお取引のある業者からレンタルしていただいても構いません。

Q. 雨天の場合は防災学習プログラムは行いますか？

A. 災害は雨天でも起こる可能性があることから原則催行します。ただし、以下の「判断基準」に該当する場合は野外活動を屋内代替プログラムにて実施いたします。

【野外活動を屋内代替プログラムにする判断基準】

- ① 大船渡市内に大雨警報発令
- ② 雷光・雷鳴による雷を察知した場合、もしくは雷光・雷鳴がなくなってから30分を経過していない場合
- ③ 野外活動で想定する行動経路が使用不可能、または凍結、積雪等により危険と判断される場合

また、次の旅行行程に影響がある等で雨天時の野外活動が好ましくない事情をお持ちの場合はあらかじめご相談ください。

Q. 「あの日」防災学習プログラムの中止、中断について（前ページ参照）に該当し中止となる場合、代替プログラムはありませんか？

A. 「あの日」防災学習プログラムの中止、中断についてに該当する事由が発生した場合、もしくは事由発生が見込まれる場合は速やかにご連絡をされるとともに、大船渡市観光物産協会と連携しながら、その時点で催行可能な代替プログラムをご提案いたします。

例) 「あの日」防災学習プログラムのプレイエリアであるキャッセンエリアがテロ行為によって使用不可能となっているが、お客様は予定旅行行程通り、大船渡市に直地している（着地見込みの）場合、など。

「あの日」防災学習プログラムを含む、
大船渡地域コンテンツ連携の利用検討等、
旅行プランニング全般のお問い合わせ

問い合わせ先

一般社団法人大船渡市観光物産協会

E-mail : sanriku_ofunato@dolphin.ocn.ne.jp

TEL : 0192-21-1922

FAX : 0192-47-3416

〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字茶屋前7番地6
おおふなぼーと(大船渡市防災観光交流センター)1階

営業時間 AM9:00～PM18:00

定休日 年末年始

「あの日」防災学習プログラム内容について、
「あの日」防災学習プログラムのみの利用
についてのお問い合わせ

問い合わせ先

「あの日」防災学習プログラム実施主体

「あの日」防災学習プログラム事務局

一般団体

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/5KCrXkW6dETHcVD58>

学校・教育関係者

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/rfiCqHeTTFHveHYXA>

無料体験デイ

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/DpiQr48vs46o2D1D8>

旅行者

問い合わせフォーム

<https://forms.gle/xFaEJ4r9ATkSd7XG7>

株式会社キャssen大船渡

Mail : info@kyassen.co.jp

FAX : 019-22-7910